

WBF2023 において災害レジリエンス共創センターセッション「防災総合知の探究」を開催しました (2023/3/11)

テーマ：防災総合知，災害レジリエンス，デジタルツイン，災害時情報共有
会場：仙台国際センター 大ホール

2023年3月10日から12日にかけて、仙台国際センターにおいて「第3回世界防災フォーラム」が開催されました。災害レジリエンス共創センターでは防災科学技術研究所との共催により、3月11日(11:50 - 12:50)に「Convergence of Knowledge in Disaster Science (防災総合知の探究)」と題しセッションを開催しました。

本セッションでは、ロンドン大学のデビッド・アレキサンダー教授と、防災科学技術研究所(NIED)の林春男理事長から基調講演をいただき、災害科学において総合知を構築・発展させ、世界を持続可能で強靱な社会とする意義とその実現のための変革的な行動の重要性が示されました。つぎに、内閣府から堀野秀幸氏、NIED 総合防災情報センターから臼田裕一郎氏、当センターから越村俊一教授・副センター長が、災害レジリエンスの向上にむけた取り組みをそれぞれ発表しました。NIED では、災害発生時には組織横断的な災害情報の共有と状況分析により、政府の意思決定を支援するシステム(SIP4D-DDS)の開発が進められていること、越村教授からは、災害過程をリアルタイムに分析し最適な災害対応と避難行動を促し、その後の素早い回復につながる方策や被災地支援策を導くための基盤となる「災害デジタルツイン」構築に関する最新の研究成果について、報告しました。最後に当センター奥村誠教授(災害情報キュレーション研究領域領域長)が閉会の挨拶を行い、防災総合知の探究と活用に向けた今後のさらなる連携への意欲を表明して終了となりました。

本セッションには、大ホールを会場として多くの方の参加をいただき、オンライン配信を通じて世界の方々にもひろく活動報告をすることができました。今後の連携、共創研究、社会実装にむけ、意識を共有する機会となりました。

当日のプログラムは以下の通りです。

司会：中鉢 奈津子 特任准教授(広報室)

開会挨拶 江川 新一 教授・センター長

基調講演 1: 総合知とはなにか

ロンドン大学(UCL) デビッド・アレキサンダー 教授

基調講演 2: レジリエンスとサステナビリティ向上を目指した「知の統合」

防災科学技術研究所 林 春男 理事長

活動報告 1: 総合知について

内閣府総合知チーム 堀野 秀幸 氏

活動報告 2: 組織間情報共有と災害動態統合解析による災害時緊急活動支援の取り組み -SIP4D から SIP4D-DDS へ-

防災科学技術研究所 総合防災情報センター 臼田 裕一郎 センター長

活動報告 3: レジリエンス向上のための災害デジタルツイン Disaster Digital Twin for National Resilience (DDT4NR)

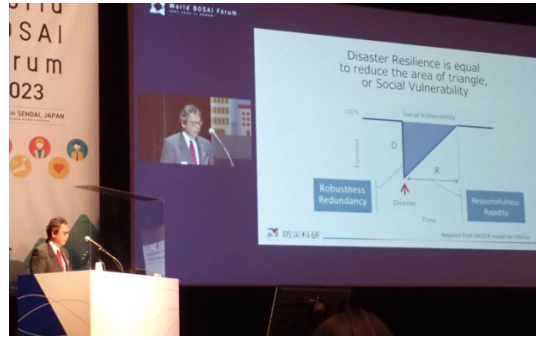
越村 俊一 教授

閉会の辞 奥村 誠 教授

文責：武田百合子(災害レジリエンス共創センター)
(次頁へつづく)



アレキサンダー教授による基調講演



林理事長による基調講演



セッション登壇者集合